

共同獣医学部学術セミナー

演題： 雌雄両面からの牛の繁殖性向上

講師： 谷口 雅康 先生 (山口大学共同獣医学部 獣医繁殖学)

日時： 令和 6年 9月 6日 (金) 17:00～

場所： 獣医学研究科棟 4階 大講義室

講演要旨：

牛の精子凍結保存とその凍結精液を用いた人工授精法は世界で広く一般的に活用されている。しかし、1回の人工授精に対する妊娠率は年々低下傾向である。生産性の向上に主眼を置いた育種改良による繁殖障害の増加や効率化を図るための規模拡大による管理面の要因など、雌側または農家側の要因に対する研究は幅広く行われている。我々は体外胚生産 (IVP) の効率化を図ると共にIVPモデルを用いて妊娠率の低下につながる現象について、活性酸素種 (ROS) に着目して研究を行ってきた。一方で、凍結精液は主に融解後の運動性において一定基準を満たせば市場に流通する。そのため、種雄牛ごとに受胎率に差はみられるものの、農家は生産性及び市場性を重視して精液を選定する。さらに、凍結精液の製造は限られた機関でのみ行われていることから、雌側での研究に比べ、雄 (精子) 側での研究報告は圧倒的に少ない。我々は従来の生産過程では摘発できない、雄側の低受胎と関連する現象を観察しており、雄側からの受胎率改善を目指した研究を行っている。本セミナーでは我々が取り組んできた雌雄両面からの牛の繁殖性向上に関する研究について紹介すると共に、持続可能な畜産のための取り組みについて解説する。

問合せ先：高木光博 (内線5904)